

事業名	ながさき女性活躍アクティブプラン			
事業の趣旨・目的	企業における女性活躍・家庭と社会生活の両立 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定やイクボスの養成などの実行支援、管理職登用のための女性の人材育成支援等により、企業における女性の活躍を推進するとともに、家庭と社会生活の両立を促進する。			
事業目標・重要業績評価指標 (KPI)		目標・KPI	目標値(時点)	現状値(時点)
	令和2年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	事業所における係長級以上に占める女性の割合(アウトカム)	30% (R2)	23.7% (H26)
	令和2年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)			
	事業目標(全体)	・ミドルマネジメント講座受講者数(アウトプット) ・管理職を目指す女性の増加(アウトカム)	410人 H27～ R2累計 (R2)	320人 H27～ R1累計 (R1)
		・イクボスセミナー受講者数(アウトプット) ・イクボスを目指す管理職等の増加(アウトカム)	158人 H30～ R2累計 (R2)	108人 H30～ R1累計 (R1)
	事業目標・重要業績評価指標(KPI)	・啓発動画コンテンツの制作数(本)(累計)(アウトプット) ・20歳～59歳のうち、家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合(%)の増加(アウトカム)	3本 R1～R2 累計 (R2)	2本 (R1)
	事業KPI(全体)	・受講者アンケートで、本講座を受講したことで、管理職になることに対して「前向きになった」、「どちらかといえば前向きになった」と回答した人の割合	90% (R2)	
		・受講者アンケートで、本セミナーを受講したことで、「イクボス宣言を契機に対外的にPRしたい」と回答した人の割合	50% (R2)	
		・20歳～59歳のうち、家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合(%)	43.2% (R2)	
	市町村の取組状況に関する目標	女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画策定市町村数(アウトカム)	21市町 (全市町) (R2)	17市町 (R1)
市町村の取組状況に関するKPI				
事業内容	<p>ミドルマネジメント講座・受講者ネットワーク構築</p> <p>県内企業の女性管理職の登用促進を図るため、管理職として必要となる基本的な考え方や部下の育成方法などを学ぶ人材研修を行い、女性社員の意識の向上とスキルアップを支援する。</p> <p>なお、平成30年度まで1地域(回)あたり5日間の日程で実施していたが、企業のニーズを踏まえ、H31年度からは2日間の講座を新たに新設。</p> <p>また、講座受講者や講師のロールモデル等のネットワークを構築し、同じような立場の悩みを共有する場、相互研鑽の場、研修結果発表(情報交換)の場として、受講者の交流会を開催する。</p> <p>イクボス推進事業</p> <p>仕事と家庭の調和を図るとともに、女性の継続就業や管理職登用などにむけて、業務の改善やダイバーシティ運営、部下への理解・配慮などを実践する「イクボス」の普及を推進するため、管理職層を対象とした人材育成事業を実施する。</p> <p>家庭と社会生活の両立促進事業</p> <p>男女がともに家庭と社会生活を両立できる環境を整えるため、職場の理解や家事・育児等のシェア(共有化)を促進するため、(A)職場の理解促進や男性の家事・育児等への参画促進に関する機運の醸成・啓発、(B)次世代(大学生)を対象に、モデル世帯の人生設計を活用して、女性のキャリア形成や継続就業等に関する意識啓発を実施する。</p>			
事業の実施により期待される効果	<p>企業における女性活躍・家庭と社会生活の両立</p> <p>女性管理職の登用拡大、ワーク・ライフ・バランスの浸透(長時間労働の是正・家庭生活時間の確保)、職場風土の改善、男性の家事・育児参画などを図る</p>			
事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	<p>以下により事業検証並びに課題整理を行い、次年度事業へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価を行い、PDCAサイクルにより事業効果等を検証し、更なる効率化や改廃等を検討する。(毎年) ・女性活躍推進法に基づく協議会(ながさき女性活躍推進会議企画委員会)を開催し、取組概要等協議・次年度の方向性等を協議する。 ・男女共同参画審議会へ事業の進捗を報告するとともに、課題や取組等について協議する。 			